大阪公立大学　innovation academy　J-PEAKS　Mulco project

共創パートナーズ 第15回イベント

共創研究機構キックオフイベント

未来社会の創成



2026年

12月1日(火)

15:30～17:40(15:00受付開始)

参加申し込みはこちら
https://forms.cloud.microsoft/r/eness1BCtc

締切 11月27日(金)

会場

◇堀場信吉スクエア
大阪公立大学
中百舌鳥キャンパス
イノベーションアカデミー・
スマートエネルギー棟1階
(堺市中区学園町1番1号)

◇オンライン（zoom）

対象者

どなたでも
(企業・自治体・学生など)

◆共創研究機構とは

学内外との共創研究や共創活動の活性化、社会実装等の促進を通じて、地域・広域課題の表出、解決に貢献するとともに、未来社会の創成に資することを目的として設置している機構です。

プログラム

15:30-	開会挨拶・共創研究機構の説明 共創研究機構長　重松孝昌
15:40-	●UReCの活動について **都市科学・防災研究センター** 所長　重松孝昌(工学研究科　教授) ●全固体電池研究所の取り組みについて **全固体電池研究所** 所長　林　晃敏(工学研究科　教授) ●地域にひらくWell-beingの拠点づくり ― 健康づくりと社会参加を支える共創実践 ― **Well-being共創研究センター** 副センター長　内藤泰男(リハビリテーション学研究科　教授) 玄　安季(リハビリテーション学研究科　特任助教) ●高度微生物教育・研究センターに期待されること **高度微生物教育・研究センター** センター長　山﨑伸二（獣医学研究科　教授） ●分子認識の光誘導加速システムLAC-SYSが拓く未来の産業基盤 **LAC-SYS研究所** 所長　飯田琢也（理学研究科　教授） ●感染症に強い都市・大阪を共創する― 大阪国際感染症研究センターの挑戦 ― **大阪国際感染症研究センター** センター長　掛屋　弘(医学研究科　教授) ●ATOM ― 未来を語り、未来を構想する場 **未来社会創成研究所** 所長　重松孝昌(工学研究科　教授)
17:35-	開会挨拶 共創研究機構副機構長　松井利之

お問い合わせ

大阪公立大学　産学官民共創推進室　電話:072-247-6098
Forms:https://forms.cloud.microsoft/r/NL51NaSmnt

共創パートナーズ 第15回イベント

共創研究機構キックオフイベント

未来社会の創成



都市科学・防災研究センター　重松孝昌

都市科学・防災研究センターは、「21世紀型レジリアント都市」のあるべき姿を描き、その実現に向けた実践モデルの構築に取り組んでいます。包摂型創造都市の研究や、世界的感染症や広域・複合災害がもたらした社会・生活の変容や教訓を踏まえ、誰もが安全・安心に暮らせる都市社会の実現を目指しています。



全固体電池研究所　林　晃敏

全固体電池研究所では、安全性と高エネルギー密度、長寿命を兼ね備えた全固体電池の社会実装に向けて、最先端の電池材料開発や評価解析技術や電池プロセスに関する研究を行っています。企業連携の場となる全固体電池実用化研究会の運営や共同利用・共同研究拠点事業を通じた電池研究人材の育成に取り組んでいます。



Well-being共創研究センター　内藤泰男・玄　安季

Well-being共創研究センター（WellCo）は、健康・社会参加・都市環境・デジタル技術など多様な分野の研究を通じて、人々が自分らしく生き、人とつながり、安心して暮らし続けられる社会の実現を目指しています。地域・市民・自治体・企業等と連携し、研究から実証、社会実装までを共に進める研究拠点です。



高度微生物教育・研究センター　山﨑伸二

高度微生物教育・研究センターは、りんくうキャンパスに位置するが、全学の共同利用施設であり、学内外との共同研究が可能です。BSL3の病原体を取り扱うことができ、平時には高病原性病原体の基礎的研究を行い、有事には、新興感染症病原体に対する診断法、治療法及び予防法の迅速な開発に迅速に貢献することが期待されています。



LAC-SYS研究所　飯田琢也

「光の力」や「光の熱」が引き起こす流れを巧みに利用した光濃縮により、生命機能を非破壊に計測・制御する「光誘導加速システム（LAC-SYS）」の研究開発を世界に先駆けて推進しています。LAC-SYSにより光・量子科学の融合領域である量子生命科学などの新しい学術分野の発展や、医療、創薬、環境・エネルギー、食品検査などの社会的課題の解決に貢献します。



大阪国際感染症研究センター　掛屋　弘

大阪国際感染症研究センターは、感染症に強い国際都市・大阪の実現を目指し、医学・獣医学をはじめとする多分野の「総合知」を結集する研究拠点です。行政・医療機関・企業等との共創を通じ、感染症研究、人材育成、政策提言、社会実装を推進し、平時から感染症危機に備える社会の構築に貢献します。



未来社会創成研究所　重松孝昌

未来社会創成研究所は、既存の概念や現在の延長線にとらわれず、ありたい未来社会を自由に眺望し、その実現への道筋を描きます。専門分野の枠を越えた多様な知と発想を結び付け、研究者が未来に夢を抱き、新たな挑戦へ踏み出すことのできる未来社会の創成を目指しています。